

身近な情報をお寄せください

企画調整課広報広聴係 ☎373-2111(内)333

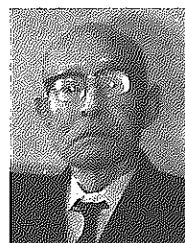
表彰おめでとう ございます

故 川田福治氏に 従五位勲四等瑞宝章が



3月8日にご逝去された元市議会議長の川田福治氏(庚)に同日付けて従五位勲四等瑞宝章が贈られました。同氏は昭和17年6月に中蒲原郡茨曾根村議会議員として初当選。以来、白根町議会議員、白根市議会議員として、昭和62年4月まで32年間にわたってご活躍。その間、昭和48年から10年間にわたり、市議会議長を務められました。

富山寅市氏に 勲六等単光旭日章が



元市議会議員の富山寅市氏(戸頭・88歳)に4月1日、勲六等単光旭日章が贈られました。同氏は昭和30年4月に中蒲原郡白根町議会議員に初当選以来、昭和42年4月まで3期12年にわたり、白根市議会議員を務められました。

須田武さん、時田貞男さんに 消防庁長官表彰が

市消防団白根分団長の須田武さん(能登3・54歳)と、白根地区消防本部総務課長の時田貞男さん(和泉・57歳)に、3月4日永年勤続功労章が贈られました。須田さんは昭和34年7月に白根市消防団員に任命されて以来、32年余り消防防災業務の第一線で活躍されている功績、時田さんは昭和30年3月に中蒲原郡白根町消防団員に任命されて以来、37年余り消防防災業務の第一線で活躍されている功績によるものです。

市ほう賞規則に基づく表彰

〔自治功勞〕

- 岡田市太郎さん(白井・61歳)
- 児玉 博さん(鍋湯・60歳)
- 斎藤 貞一さん(庄瀬下町・59歳)
- 伊藤 敬治さん(小須戸町・60歳)
- 吉原 忠彦さん(鯉湯1丁目・60歳)
- 本名 達也さん(砂原甲・59歳)
- 高野 キイさん(小須戸町・60歳)
- 沢田ミドリさん(日の出町・59歳)

以上の方々は、長年市職員として市政の発展に寄与した功績により、3月31日、表彰されました。

春の空気を満喫

健生病院
入院患者

四月十五日、桜が満開の白根公園で、健生病院の入院患者の皆さんがお花見で春の空気を満喫しました。参加したのは主に同病院の神経内科病棟の患者さんたち。外気に触れることで、患者さんや付き添い者の気分転換を図ろうと、毎年行われているものです。ボランティアのしらすの会も協力。病院職員らに付き添われた皆さんは、ゲームや歌で楽しいひとときを過ごしました。

また、この日は好天に誘われて公園を訪れたデイ・サービスセンターの来所者も仲間入り。一緒にゲームに加わり、春の一日を楽しみました。

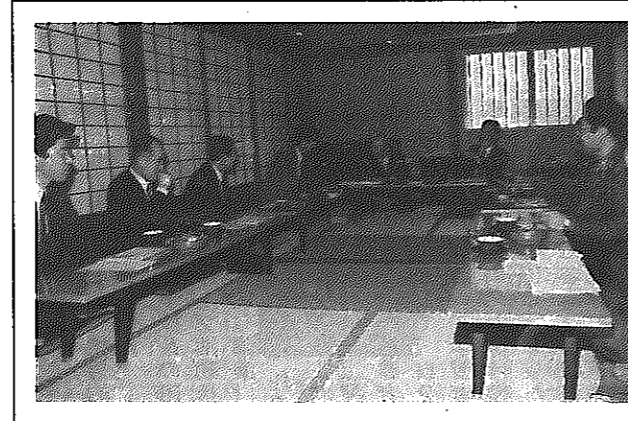


産地全体の底上げを

指導農業者と農政課長との懇談会

指導農業者と農政課長との懇談会が、三月十七日に行われました。指導農業者は、地域のリーダーとして活躍し、先導的な経営を行っている農家で、市の推薦を受けて県が認定するもの。市内には現在九人の指導農業者がいます。

県内有数の農業生産を誇る本市ですが、懇談会では国際化の波や産地間競争の激化など、厳しい農業情勢を反映。特にコメについては、良質米生産など産地全体の底上げを図るよう行政の指導を求める意見が続出。また、後継者対策の充実を求める意見なども出されていました。



養殖漁業を体験

稚魚放流
大通小

三月十七日、大通小学校の五年生七十一人が信濃川にサケの稚魚を放流しました。これは信濃川漁協の協力を得て行われたもので、社会科学科で学んでいる養殖漁業の体験学習の一環です。漁協の人たちから「サケは卵を産むために、生まれた川に帰ってきます」という話を聞いた後、十萬匹の稚魚を放流しました。

放流したばかりの稚魚が川面に姿を見せると、子供たちは「ワァー、泳いでるよ!」と大きな歓声。「大きくくなって、何匹帰ってくるかなしみだな」と、サケの長い旅に思いを寄せていました。

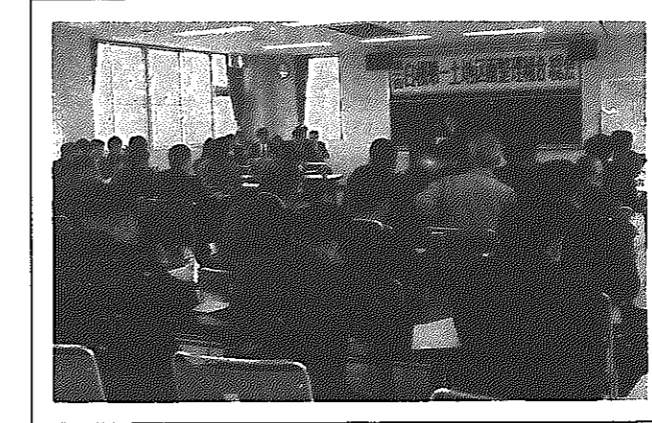


快適な住環境整備を

白根第一土地
区画整理組合

白根第一土地区画整理組合の第一回総会が、四月五日大通地域生活センターで開かれ、役員や予算などを決めました。同組合は、三月二十七日に県の認可を受けて設立。都市計画用途地域内の大通南団地と北部工業団地の間、約二十一畝の土地区画整理を行うもの。将来的には、住宅地として開発します。

理事長に選出された田辺惣太郎さんは「快適な住環境整備を進めるには、地権者の皆さんの協力が不可欠」とあいさつ。技術援助をする開発課では、下塩俣ニュータウンの開発が一層進むものと期待を寄せています。



21世紀に大きく飛躍

ロータリークラブ20周年

白根ロータリークラブ(小林徹会長)は、四月五日、創立二十周年記念式典を行いました。会場の農協ドリームホールには、同クラブのOBをはじめ、県内外のロータリークラブ員など百三十人が参加。二十周年を祝いました。

同クラブは十八歳から二十九歳までの青年で構成。カーブミラーの清掃や空き缶拾いなど、ロータリークラブとともに、地域社会に密着した奉仕活動を続けています。「今、原点を見つめて」と題した式典では、二十一世紀に向けた今後の活動の飛躍を誓い合っていました。



一足早い桃園のうたげ

清水部落
あんじや会

四月四日、山田竜一さん(清水)の十アールほどのハウスの中は、もう桃の花が満開。一足早い桃園のうたげを楽しまうと、この日、清水あんじや会など、三つのグループが桃の花見を企画しました。「果樹産地の清水ならではの催しです。最高の場所ですよ」と話す清水あんじや会的美濃川祐一会長。

雨の心配はいらないとあって、ハウスの中はカラオケも登場する即席の宴会場。手作りの料理を持ち込み、夜の明かりに照らし出された桃の花を眺めながらの酒の味は、また格別だったようです。

